

令和 5年度予算見積調書

課室名: 文化振興課
 担当名: 文化創造・発信担当
 内線: 2882

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P37	地域社会を守る和 문화の発信と継承団体の支援事業費			一般会計	総務費	県民費	文化振興費	文化発信・継承事業費		
事業期間	令和 4年度～ 令和 8年度	根拠法令	埼玉県文化芸術振興基本条例第6～8条、第14条及び第17条		針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール	4	
					分野施策	0803	文化芸術の振興	SDGsターゲット	4-7	
1 事業概要	<p>担い手と後継者不足に悩む伝統芸能（無形民俗文化財）の継承を促し、この取組を通じて地域社会を守る。人と人をつなぎ地域社会を維持する役割を果たしてきた伝統芸能を中心とした和 문화の支援に取り組むこととする。その魅力を発信するイベントでステージの観覧とワークショップによる実体験で県民に浸透する。また、演技の動きのデータ化、地域の企業や団体等の協力の体制、共通の悩みを抱える団体の情報交換の場を作ることなどで、伝統芸能の存続と活性化の道を見出し、継承団体を支援する。</p> <p>(1) 無形の和 문화の魅力発信 7,286千円 (2) 伝統芸能の継承団体の支援 1,870千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 無形の和 문화の魅力発信 7,286千円</p> <p>イ 伝統芸能の継承団体の支援 1,870千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 無形の和 문화の魅力発信 和 문화の魅力を発信するためのイベントを1回開催する。県の文化総合ウェブサイト運営し、デジタルアーカイブ動画、イベント情報、支援企業等を紹介する。</p> <p>イ 伝統芸能の継承団体の支援 パフォーマンスを収録した動画を集めたデジタルアーカイブを制作する。企業や大学、団体が伝統芸能団体等を対象とした「サポーター制度」を構築する。保存団体の参加するフォーラムを年1回開催する。</p> <p>(3) 事業効果 伝統芸能を通じた地域活動の活性化により人と人がつながる地域社会が守られる。文化活動の参加者が増えることで支援者や後継者の確保が進み、伝統芸能が保存・継承される。</p>						
2 事業主体及び負担区分	(県10/10)									
3 地方財政措置の状況	なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×1人=9,500千円									
予算額		財源内訳							一般財源	前年との 対比
		国庫支出金								
決定額	9,156							9,156	△1,190	
前年額	10,346	10,346						0		

事業内訳書

事業名	地域社会を守る和文化の発信と継承団体の支援事業費		
単位事業名	無形の和文化の魅力発信	予算額	7,286千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	100	0	イベント出演謝金
旅費	80	0	イベント出展・出演者との調整旅費
需用費	100	0	イベント消耗品代、チラシポスター代
役務費	1,050	0	イベント出演謝金
委託料	4,956	△660	イベント企画・会場設営・運営一式、イベント撮影一式 Webサイト、運営一式
使用料及び賃借料	1,000	△500	イベント会場使用料
合計	7,286	△1,160	

単位事業名	伝統芸能の継承団体の支援	予算額	1,870千円
-------	--------------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	100	0	フォーラム出演謝金
旅費	520	△80	フォーラム出演者やサポーター等関係者との調整旅費
需用費	250	100	フォーラム等消耗品費
役務費	950	△50	デジタルアーカイブ制作謝金
使用料及び賃借料	50	0	フォーラム会場使用料
合計	1,870	△30	